



映画・ドラマ制作実践 ワークショップ

参加者募集

参加対象
中学生・高校生
大学生・専門学校生
参加費：無料
定員：20名

会場 福島さくら遊学舎 〒963-7725 福島県田村郡三春町鷹巣瀬山 213

希望者には無料シャトルバスを準備しますので、ぜひご利用ください。
《郡山駅東口発 9:00⇨遊学舎発16:45予定》

映画・ドラマ制作の撮影と演出を実践的ワークショップで楽しく学ぶ！
身の回りにあるものを活用しちょっと工夫することで、映像表現に差をつける撮影技法を学ぶ第1回
課題のシナリオをドラマ化するまでを実践的にグループワークで学ぶ第2回
クリエイティブな才能を高め、チームワークや表現力を育むワークショップです。

第1回

10/20日

10:00-16:30

10/4(金)申込締切



▶▶映像表現に差をつける撮影技法を学ぼう！

プロが使用する映画撮影用のカメラを使用してのレクチャーを通して、
撮影の基礎や理論を学びます。

▶▶身近なものを活用して、撮影による映像演出を学ぼう

スマートフォンを使用してのグループ撮影を行います。
身近な日用品や雑貨などを活用し、多彩な撮影技法を実践的に学びます。

第2回

11/17日

10:00-16:30

11/1(金)申込締切



▶▶シナリオを演出してショートドラマを作ってみよう！

前半では、シナリオの読み解き方、ロケハン～撮影スケジュールの組み方まで、
プリプロダクションの基礎を学びます。

後半では、グループごとに役割を分担し、撮影・編集を行い、1つのショート
ドラマを制作します。

※第1回と第2回のどちらか1日のみの受講も可能です。
※昼食（無料）を準備いたします。申込みの際に入力ください。



10/20・11/17

講師
浅尾 芳宣

福島県生まれ。マサチューセッツ芸術大学修士課程修了。帰国後、ライブ、クラブイベント等に映像クリエイターユニット「なにわデジタル工務店」として参加。その後、広告、PV等多数監督・プロデュース。一方、株式会社ガイナックスにてアニメーション作品の制作に携わり、復興応援のため株式会社福島ガイナックスを設立。その後、木下グループへの参入をきっかけに社名変更。現在は株式会社ガイナ・株式会社福島ガイナ代表取締役。また、大阪芸術大学映像学科教授として、アニメだけではなく日本の映画・映像産業を担う後進の育成に尽力している。『ピアノの森』『キャップ革命ボルトマン DX』『組長娘と世話係』『愚かな天使は悪魔と踊る』（2024年）『グレンダイザーU』（2024年予定）



10/20・11/17

講師
佐々木原 保志

『ISAMI』（1982年）撮影監督デビュー
『死んでもいい』『その男、凶暴につき』（1989）、『無能の人』（1991）、『GONIN』（1995）、『東京日和』（1997）、『ゲゲゲの鬼太郎』（2007）、『チーム・バチスタの栄光』（2008）、『ハナミズキ』（2010）、『星籠の海』『バケツと僕』（2016）等
受賞歴／大阪映画祭撮影賞・横浜映画祭撮影賞・柴田賞
日本アカデミー賞優秀撮影賞・文化庁映画功労賞、他
日本映画撮影監督協会（JSC）理事・副理事長歴任
『映画撮影』誌、現編集長



11/17

講師
三原 光尋

『SLAP HAPPY』（94）でおおさか映画祭新人監督賞・大阪市若手芸術家奨励“さくやこの花賞”受賞。
『ヒロイン！ なにわボンバース』（98）にて劇場映画デビュー。
『村の写真集』（05）で第八回上海国際映画祭・最優秀作品賞＆最優秀主演男優賞（藤竜也）をW受賞。
他に「ドッジGO!GO!」（02）『屋根裏の散歩者』（07）『しあわせのかおり』（08）『あしたになれば。』（15）『広告会社男子寮のおかずくん』（19）『オレンジランプ』（23）『アントニオ猪木を探して』（23）等、多数の映画作品を手掛ける。又、テレビドラマも手掛ける。
シナリオ作家協会会員
創作と並行して、現在、大阪芸術大学にて、若手育成の教鞭を執る。
映画最新作は「高野豆腐店の春」（23）
イタリア・フェアーイースト国際映画祭 ゴールデンマルベリー賞
ハワイ国際映画祭 観客賞等、国内外で10冠を達成

本事業に関するお問合せ先

運営：NPO 法人かけはし
住所：〒966-0865 福島県喜多方市寺田 4905 番地 21
電話：0241-26-0925
メール：info@kakehashi-kitakata.com

主催 福島県



お申し込みは特設ホームページから

特設ホームページ

<https://mediaart-fncc.com>

FNCC 福島

検索

